

密封小線源療法を受けられる()さんへ 入院中のスケジュールです

説明日 (/) 説明者氏名 ()

STA1400010

月日(日時)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)
経過(病日)	手術前日	手術当日(前)	手術(治療)終了後	手術後1日目	手術後2日目(退院日)
達成目標	◇手術に対し理解できる ◇治療に対する不安が軽減する ◇手術に向けて心身の準備・物品の準備ができる	◇治療が安全・安楽に受けられる	◇体温、血圧に問題がない ◇管から尿が問題なく流れる ◇手術の痛みがコントロールでいる ◇静脈血栓症の症状がみられない	◇尿管がみられない 【退院基準】 ◇排尿状態に問題がない ◇退院後の生活の注意点について理解できる	◇尿管がみられない 【退院基準】 ◇排尿状態に問題がない ◇退院後の生活の注意点について理解できる
入浴前に除毛をします	入浴前に除毛をします	朝、浣腸をします 朝から点滴があります 手術用の寝巻に着替えます 弾力ストッキングをはきます (血栓予防のため)	血栓予防のため足にフットポンプを装着します (翌朝まで)	点滴終了後、針を抜きます 朝、フットポンプをはずします 弾力ストッキングを外します	
夕食後に液状の下剤、 眠る前に錠剤の下剤を飲みます	夕食後に液状の下剤、 眠る前に錠剤の下剤を飲みます	治療前に内服があります (治療の緊張を和らげるお薬で眠くなります)		ガーゼ交換・除去、創部の観察をします	
検査				採血・レントゲン・CTの検査があります	
活動・安静	安静制限ありません(病院内自由です)	制限ありませんが、 なるべく部屋に居てください	翌朝まではベッド上で安静です 頭は上げないで下さい (頭を高く上げると頭痛・吐き気が出現する 可能性があります) 寝返りはできます	★安静制限はありませんが、病室からは 許可がでるまで出れません	
安全	患者本人確認のためネームバンドをします 転倒転落の危険度を評価します ナースコール、ベッド柵を設置します 転倒予防のため、運動靴の使用をお願いします		転倒・転落予防のためベッド柵をします ナースコールを設置します	安全のため、初回立位時・歩行時は、 看護師が付き添います 転倒・転落危険度を評価します 管が入っていますので、転倒しないよう注意しましょう	
栄養	食事は夕食まで取ることができます 水分は、医師指示に従ってください それ以降は絶飲食です	朝から食事や水分は取ることができません	許可が出たら、水分のみ摂取可能です	朝食より食事開始となります	
清潔	除毛後に入浴して下さい	洗面・歯磨きをして下さい 髭剃りもして下さい		看護師が身体を拭きにきます	退院してから、シャワーに入ってください
排泄		手術前に、トイレを済ませて おいて下さい	尿の管が挿入されます 便)ベッドの上で排泄になります	CT検査後、尿の管が抜けます。 初回排尿後はエコー検査をします。 尿の管が抜けたら 尿量の測定・尿こしをして下さい。 線源を見つけたら、看護師を呼んで下さい	
説明・指導	病棟の案内をします。 手術前オリエンテーションを行います 褥瘡予防の説明・指導を行います 薬剤師が内服薬の確認を行います ＜必要物品＞ ストロー付きコップ ティッシュ1箱 歯磨きセット *必要物品は床頭台の上に準備してください。 看護師が必要物品の確認を行います。	入れ歯や時計などの 金属類は外してください 小線源治療室は外来治療センターの1階です 家族の方はデイルームでお待ち下さい 病棟を離れられる際は、看護師にお知らせ 下さい	手術が終わったら、西7階の病室へ戻ります 手術後、医師より説明があります 治療終了後～翌日の指示があるまで放射線の 管理区域となります。 そのため、部屋の入退室の制限・面会の制限 (部屋の入退室時の記録・放射線量測定器 の着用)が必要です。 入室方法については当日説明します。	※留意点 尿の管を抜いた後は、一時的に頻尿になったり 尿の出が悪かったり、しみたりすることがあります 水分をよく取ってください ★放射線科の先生から説明がありますので、 必ず家族同伴で聞いてください。 (時間は前日お伝えします) 看護師が再来日、退院後の生活について説明します。 薬剤師が服薬指導を行います。	【退院時】 病室のトイレに置いている線源容器を 忘れずに持って帰ってください。 線源が出た場合は直接手で触れず、 箸やスプーンで掴み、線源容器に 入れて下さい。 線源容器は、次回再来日に 必ず持ってきて下さい。

注1: 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2: 入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院 泌尿器科 西棟7階病棟
2023年7月改訂